

平成22年3月期 第2四半期決算短信

平成21年11月13日

上場取引所 JQ

上場会社名 日本サード・パーティ株式会社

コード番号 2488 URL <http://www.jtp.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 森 和昭

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長

(氏名) 高島 隆明

TEL 03-3524-0511

四半期報告書提出予定日 平成21年11月13日

配当支払開始予定日 —

(百万円未満切捨て)

1. 平成22年3月期第2四半期の連結業績(平成21年4月1日～平成21年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年3月期第2四半期	2,910	—	△67	—	△76	—	△62	—
21年3月期第2四半期	—	—	—	—	—	—	—	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年3月期第2四半期	△1,128.94	—
21年3月期第2四半期	—	—

(注)平成22年3月期第1四半期より四半期連結財務諸表を作成しているため、前年同四半期の数値及び対前年四半期増減率については、記載していません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
22年3月期第2四半期	3,584	2,294	64.0	41,594.70
21年3月期	—	—	—	—

(参考) 自己資本 22年3月期第2四半期 2,294百万円 21年3月期 一百万円

(注)平成22年3月期第1四半期より四半期連結財務諸表を作成しているため、前期の数値については、記載していません。

2. 配当の状況

	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年3月期	—	—	—	2,000.00	2,000.00
22年3月期	—	—	—	—	—
22年3月期(予想)	—	—	—	2,000.00	2,000.00

(注)配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成22年3月期の連結業績予想(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	6,300	—	210	—	200	—	110	—	1,972.90

(注)連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 有

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 無

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)

- ① 会計基準等の改正に伴う変更 無
- ② ①以外の変更 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	22年3月期第2四半期	60,156株	21年3月期	60,156株
② 期末自己株式数	22年3月期第2四半期	4,985株	21年3月期	3,511株
③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間)	22年3月期第2四半期	55,755株	21年3月期第2四半期	59,080株

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 当社は、当第1四半期より連結財務諸表を作成しているため、対前期及び対前年同四半期増減率については記載しておりません。
2. 上記に記載した予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績等は、業況の変化等により、上記予想数値と異なる場合があります。

定性的情報・財務諸表等

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間（平成21年4月1日から平成21年9月30日）における我が国経済は、製造業で生産の持ち直しの動きが見られるなど、一部では景気の底打ちの兆しが見受けられるようになってきておりますが、景気がこのまま回復するかは依然先行き不透明な状態であります。

当社グループが属するIT業界では、景気の悪化から派生した設備投資の手控え、仮想化技術の浸透による出荷台数の激減、製品単価の値下げ競争など、市場環境は激変しております。それは同時に、従来型のビジネスモデルであるハードウェアの納入・設置そして保守といった労働集約型のアフタサービスの需要が急激に落ち込む事態となっております。

このような事態を当社は事前に予測し、従来のハードウェアの保守・アフタサービスの世界から脱却すべく、IT保守コスト外部監査事業及びセキュリティ・プロフェッショナル育成事業に着手するとともに、社員の教育訓練に注力し、人的な先行投資を実施しましたが、市場はこの予想をはるかに上回る速さで変化しております。当社はこのような変化に対応できる機能と人材の確保が急務と捉え、経営資源の再配分と人員の再配置を行いました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は2,910,753千円となり、67,908千円の営業損失、76,193千円の経常損失。また、法人税等調整額17,911千円の計上により、当第2四半期連結累計期間は、62,944千円の四半期純損失となりました。

事業の種類別セグメントの業績は次の通りであります。

①ソフトウェア・ソリューション事業

教育部門において、従来の単一技術研修の需要は減少し、マルチ知識の技術研修へと市場ニーズは変化しておりますが、当期間においては、単一技術受講者数の落ち込みを新規技術受講者数で補うまでには至りませんでした。また、ソフトウェア開発部門においても、半導体市場の急激な冷え込みにより依然、厳しい状況が続いております。ヘルプデスク・コールセンタ部門においては、海外メーカからの業務一括受託により売上の拡大を行っておりますが、当第2四半期連結累計期間においては、業務立ち上げに係る人件費及び外注費が予定をオーバーしました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は1,192,908千円、営業損失は96,119千円となりました。

②フィールド・ソリューション事業

コンピュータ・システム部門において営業サポート業務やITベンダのシステム増設等にもなうネットワーク工事受託量の増加を図りました。IT応用システム・サポート部門においては、医療機器の保守、設置業務について、引き続き堅調に推移いたしました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は1,266,797千円、営業利益は177,626千円となりました。

③ハードウェア・ソリューション事業

インテグレーション・サポート部門においては、当社の受託しているメーカのサーバ出荷量が減少したことにもない、当社の業務受託量も減少しております。しかしながら、第2四半期連結会計期間以降につきましては、メーカからの一括アウトソーシング業務を受託したことにより、今後売上高は増加する予定であります。また、リペアセンタ部門は、当第2四半期連結累計期間において、輸入機器の検査業務の拡大を図りました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は421,133千円、営業利益は92,474千円となりました。

④その他の事業

国内子会社であるデータ・エントリー・ソリューション株式会社によるデータエントリー業務は、一時的に外注費が増加したため、当第2四半期連結累計期間の売上高は29,914千円、営業損失は2,336千円となりました。

（注）当第2四半期連結累計期間は連結初年度に当たるため、前第2四半期連結累計期間及び前連結会計年度の記載は行っておりません。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

(1) 資産・負債・純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末の総資産は3,584,637千円となりました。

流動資産につきましては2,915,297千円となり、主な内訳は、現金及び預金1,654,244千円、受取手形及び売掛金951,174千円であります。

固定資産につきましては669,340千円となり、主な内訳は、有形固定資産190,376千円、投資その他の資産465,487千円であります。

負債合計につきましては1,289,816千円となりました。

流動負債につきましては776,242千円となり、主な内訳は、買掛金176,668千円、賞与引当金224,551千円であります。

純資産につきましては2,294,821千円となり、主な内訳は、資本金795,475千円、資本準備金647,175千円、利益

剰余金1,110,750千円、為替換算調整勘定（借方）5,351千円、自己株式253,227千円であります。

（注）当第2四半期連結累計期間は連結初年度に当たるため、前第2四半期連結累計期間及び前連結会計年度の記載は行っておりません。

(2) キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物は（以下「資金」という。）1,651,939千円となりました。

当第2四半期連結会計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次の通りであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期連結累計期間において営業活動の結果、得られた資金は、203,162千円でありました。これは、主として売上債権の減少261,670千円に対し、仕入債務の減少23,670千円等によるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期連結累計期間において投資活動の結果、使用した資金は、4,768千円でありました。これは、主として有形固定資産の取得による支出17,223千円に対し、差入保証金の回収による収入13,533千円によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期連結累計期間において財務活動の結果、使用した資金は、202,721千円でありました。これは、配当金の支払112,382千円及び自己株式の取得による支出90,338千円によるものであります。

（注）当第2四半期連結累計期間は連結初年度に当たるため、前第2四半期連結累計期間及び前連結会計年度の記載は行っておりません。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

平成22年3月期第2四半期連結累計期間の業績予想数値については、同日発表の「業績予想の修正に関するお知らせ」にて修正を行なっておりますが、平成22年3月期（通期）の連結業績予想につきましては、平成21年10月14日発表の「業績予想の修正に関するお知らせ」から変更ございません。

4. その他

- (1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）
該当事項はありません。
- (2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
重要性が乏しいため記載を省略しております。
- (3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更
該当事項はありません。

5. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

当第2四半期連結会計期間末
 (平成21年9月30日)

資産の部	
流動資産	
現金及び預金	1,654,244
受取手形及び売掛金	951,174
仕掛品	40,447
原材料及び貯蔵品	49,927
その他	219,668
貸倒引当金	△164
流動資産合計	2,915,297
固定資産	
有形固定資産	※1 190,376
無形固定資産	13,476
投資その他の資産	
その他	466,514
貸倒引当金	△1,027
投資その他の資産合計	465,487
固定資産合計	669,340
資産合計	3,584,637
負債の部	
流動負債	
買掛金	176,668
未払法人税等	13,537
賞与引当金	224,551
役員賞与引当金	11,500
その他	349,985
流動負債合計	776,242
固定負債	
退職給付引当金	416,913
その他	96,660
固定負債合計	513,574
負債合計	1,289,816
純資産の部	
株主資本	
資本金	795,475
資本剰余金	647,175
利益剰余金	1,110,750
自己株式	△253,227
株主資本合計	2,300,172
評価・換算差額等	
為替換算調整勘定	△5,351
評価・換算差額等合計	△5,351
純資産合計	2,294,821
負債純資産合計	3,584,637

(2) 四半期連結損益計算書
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	当第2四半期連結累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年9月30日)
売上高	2,910,753
売上原価	2,682,161
売上総利益	228,591
販売費及び一般管理費	
給料及び賞与	62,142
賞与引当金繰入額	7,082
役員賞与引当金繰入額	11,500
退職給付引当金繰入額	1,026
その他	214,748
販売費及び一般管理費合計	296,500
営業損失(△)	△67,908
営業外収益	
受取利息	398
受取手数料	1,316
その他	328
営業外収益合計	2,042
営業外費用	
為替差損	5,959
事業所閉鎖損失	3,884
その他	484
営業外費用合計	10,328
経常損失(△)	△76,193
税金等調整前四半期純損失(△)	△76,193
法人税、住民税及び事業税	4,661
法人税等調整額	△17,911
法人税等合計	△13,249
四半期純損失(△)	△62,944

(第2四半期連結会計期間)

(単位：千円)

	当第2四半期連結会計期間 (自 平成21年7月1日 至 平成21年9月30日)
売上高	1,404,332
売上原価	1,352,411
売上総利益	51,920
販売費及び一般管理費	
給料及び賞与	27,846
賞与引当金繰入額	1,163
役員賞与引当金繰入額	5,665
退職給付引当金繰入額	400
その他	92,573
販売費及び一般管理費合計	127,648
営業損失(△)	△75,727
営業外収益	
受取利息	303
受取手数料	1,316
その他	87
営業外収益合計	1,707
営業外費用	
為替差損	5,587
事業所閉鎖損失	1,233
その他	175
営業外費用合計	6,996
経常損失(△)	△81,017
税金等調整前四半期純損失(△)	△81,017
法人税、住民税及び事業税	1,025
法人税等調整額	△24,147
法人税等合計	△23,122
四半期純損失(△)	△57,894

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

当第2四半期連結累計期間
 (自 平成21年4月1日
 至 平成21年9月30日)

営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純損失(△)	△76,193
減価償却費	31,497
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△44
賞与引当金の増減額(△は減少)	9,371
退職給付引当金の増減額(△は減少)	12,648
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△10,500
受取利息	△398
為替差損益(△は益)	643
売上債権の増減額(△は増加)	261,670
たな卸資産の増減額(△は増加)	△15,905
仕入債務の増減額(△は減少)	△23,670
前受金の増減額(△は減少)	26,018
その他	△17,776
小計	197,359
利息の受取額	437
法人税等の支払額	△3,020
法人税等の還付額	8,386
営業活動によるキャッシュ・フロー	203,162
投資活動によるキャッシュ・フロー	
有形固定資産の取得による支出	△17,223
その他	12,455
投資活動によるキャッシュ・フロー	△4,768
財務活動によるキャッシュ・フロー	
自己株式の取得による支出	△90,338
配当金の支払額	△112,382
財務活動によるキャッシュ・フロー	△202,721
現金及び現金同等物に係る換算差額	△2,061
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△6,387
現金及び現金同等物の期首残高	1,658,327
現金及び現金同等物の四半期末残高	※ 1,651,939

- (4) 継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

(5) セグメント情報

[事業の種類別セグメント情報]

当第2四半期連結累計期間(自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)

	ソフトウェア・ソリューション事業 (千円)	フィールド・ソリューション事業 (千円)	ハードウェア・ソリューション事業 (千円)	その他の事業 (千円)	計 (千円)	消去又は 全社 (千円)	連結 (千円)
売上高							
(1) 外部顧客に対する売上高	1,192,908	1,266,797	421,133	29,914	2,910,753	—	2,910,753
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	(—)	—
計	1,192,908	1,266,797	421,133	29,914	2,910,753	(—)	2,910,753
営業利益又は 営業損失(△)	△96,119	177,626	92,474	△2,336	171,644	(239,552)	△67,908

[所在地別セグメント情報]

当第2四半期連結累計期間(自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)

本邦の売上高は、全セグメントの売上高の合計に占める割合が90%超であるため、所在地別セグメント情報の記載を省略しております。

[海外売上高]

当第2四半期連結累計期間(自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)

海外売上高は、連結売上高の10%未満であるため、海外売上高の記載を省略しております。

- (6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はありません。

6. その他の情報

前年同四半期にかかる財務諸表等

(注) 当第1四半期より四半期連結財務諸表を作成しておりますので、前年同四半期に係る四半期連結財務諸表は作成していませんが、参考までに提出会社における(要約)貸借対照表、(要約)四半期損益計算書及び四半期キャッシュ・フロー計算書を記載しております。

(1) (要約) 貸借対照表

前事業年度末(平成21年3月31日)

科目	前事業年度末 (平成21年3月31日)
	金額(千円)
資産の部	
流動資産	
現金及び預金	1,596,972
受取手形及び売掛金	1,197,399
仕掛品	25,259
原材料	49,209
その他	228,595
貸倒引当金	△209
流動資産合計	3,097,227
固定資産	
有形固定資産	201,152
無形固定資産	14,591
投資その他の資産	
その他	563,867
貸倒引当金	△1,027
投資その他の資産合計	562,840
固定資産合計	778,584
資産合計	3,875,812
負債の部	
流動負債	
買掛金	214,778
未払法人税等	9,843
賞与引当金	215,180
役員賞与引当金	22,000
その他	326,901
流動負債合計	788,703
固定負債	
退職給付引当金	398,712
その他	99,572
固定負債合計	498,285
負債合計	1,286,988
純資産の部	
株主資本	
資本金	795,475
資本剰余金	647,175
利益剰余金	1,309,062
自己株式	△162,888
株主資本合計	2,588,823
純資産合計	2,588,823
負債純資産合計	3,875,812

(2) (要約) 四半期損益計算書

前第2四半期累計期間(平成20年4月1日～平成20年9月30日)

科目	前年同四半期 (平成21年3月期第2四半期)
	金額(千円)
I 売上高	2,920,588
II 売上原価	2,523,447
売上総利益	397,141
III 販売費及び一般管理費	327,912
営業利益	69,228
IV 営業外収益	51,599
V 営業外費用	247
経常利益	120,580
VI 特別損失	52,000
税引前四半期純利益	68,580
税金費用	32,557
四半期純利益	36,023

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

前第2四半期累計期間(平成20年4月1日～平成20年9月30日)

区分	前年同四半期 (平成21年3月期第2四半期)
	金額(千円)
I 営業活動によるキャッシュ・フロー	
税引前四半期純利益	68,580
減価償却費	21,546
貸倒引当金の増減額(減少:△)	112
賞与引当金の増減額(減少:△)	26,560
退職給付引当金の増減額(減少:△)	15,165
役員賞与引当金の増減額(減少:△)	△11,500
投資有価証券評損益(益:△)	52,000
受取利息	△5,391
為替差損益(差益:△)	△40,157
売上債権の増減額(増加:△)	△20,017
たな卸資産の増減額(増加:△)	24,408
仕入債務の増減額(減少:△)	△72,257
前受金の増減額(減少:△)	51,766
その他	△29,869
小計	80,947
利息の受取額	5,197
法人税等の支払額	△131,480
営業活動によるキャッシュ・フロー	△45,335
II 投資活動によるキャッシュ・フロー	
有形固定資産の取得による支出	△88,867
その他	2,994
投資活動によるキャッシュ・フロー	△85,872
III 財務活動によるキャッシュ・フロー	
配当金の支払額	△84,852
自己株式の取得による支出	△30,871
財務活動によるキャッシュ・フロー	△115,724
IV 現金及び現金同等物に係る換算差額	40,381
V 現金及び現金同等物の増加額(△減少額)	△206,551
VI 現金及び現金同等物の期首残高	1,930,356
VII 現金及び現金同等物の期末残高	1,723,804